

安倍政権が参院選後ねらう社会保障改悪

医療	入院ベッドの削減・再編	17年度から推進
	入院部屋代の引き上げ・対象拡大	16年末までに結論
	かかりつけ医以外の受診に定額負担	
	自己負担上限の引き上げ	
	市販類似薬の保険給付外し（湿布など）	16年度から完全に除外
	75歳以上の窓口負担1割→2割	18年度末までに結論
介護	医療費削減目標の達成に応じて市町村国保に交付金を傾斜配分	18年度から本格実施
	要介護1・2の保険外し	16年末までに結論
	利用料を1割→2割	
年金	自己負担上限の引き上げ	可及的速やかに措置
	物価下落時にも削減	
生活保護	支給開始年齢の引き上げ	19年に向け速やかに検討
	扶助基準・医療扶助などの見直し	17年度に結論
	就労しない受給者への保護費減額	

医療・介護・年金などで負担増・給付減がずらり並ぶ 安倍内閣がねらう社会保障「改革行程表」

報道によれば、安倍内閣は、「改革工程表に沿って社会保障制度改革を着実に実行する」としています。

その「改革工程表」というのは、医療、介護、年金、生活保護など社会保障の全面的改悪を実行する段取りと日程を明記したものです。昨年12月25日、予算案発表と同時に開か

れた経済財政諮問会議で決定されました。参院選後に政府の審議会で議論を開始し、早急に結論を出して実行に移すことを明記しています。

左表はそれを分野ごとにまとめたものです。そのうち、医療では、「入院部屋代の引き上げ・対象拡大」「75歳以上の窓口負担を1割から2割に引き上げる」など負担増・給付減がズバリと並んでいます。また、介護では、「要介護1・2の人を介護保険から外す」、「利用料を1割から2割へ引き上げ」と明記されています。ひどいですね。参院選で厳しい審判を下さないと、たいへんなことになります。

上越市はこのほど2016年度各会計の当初予算案を発表しました。このうち一般会計予算は、前年度より10%伸びて、1132億7919万円という規模となりました。

新年度、福祉や教育等で60事業を廃止又は見直し

予算編成にあたって市は、日常生活用具助成事業、寝具丸洗い乾燥サービス事業、脳ドッグ検診費用助成事業、地域ふれあい有価物回収事業など60の事業を廃止または見直しました。

このうち、寝具丸洗い乾燥サービス事業では、利用回数を月2回から1回に減らすとともに、介護保険制度の改悪に合わせ、所得が介護保険



【マンサク】これも私の事務所の近くにある木の花です。例年よりも少し早く咲いた気がします。マンサク科の落葉小高木。何と言っても、最大の特徴は黄色でひも状になった花弁、とてもユニークです。

における負担割合2割相当の人の自己負担額を、1割相当額から2割相当額へ値上げするなどとしています。また、病後児保育事業の利用負担金は他市の水準を考慮し、1日当たり900円を1300円に引き上げます。いずれの事業もこれまで市民生活上、大きな役割を果たしてきただけに議会での議論は必至です。

子ども医療費助成は高卒まで拡充

一方、新年度予算にはこれまで市民から強く要望が出され、日本共産党議員団などが提案していたものがいくつか盛り込まれました。これらは前進です。

子ども医療費助成事業の対象を高校卒業までに拡充（実施は九月から）したほか、店舗等の改装工事を半助成（上限は個店が20万円、団体は200万円）する「商店リニューアル助成制度（提案名は『地域経済活性化店舗等改装促進事業』）」をスタートさせます。



【四つ網の竹たが】木材で作った化粧樽の周りに巻かれている竹の輪を「たが（箍）」といいます。先日、吉川区河沢地内でピラ配布の途中、四つ網の竹たがを作っている人に出会いました。見事なものでした。

はしづめ法一の活動レポート

No.1746 2016.2.28

発行編集 日本共産党前上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一 検索

春よ来い

第三九四回 自転車ふたたび

母が私に「明日、フキント採りに行くがど……」と言った時、歩いてフキノトウを採りに行くものと思っていました。その日、私は新潟市へ出かける前に母に言いました。「いかね、川のそばへ行っちゃだめだよ」と。

新潟市での用事が終わり、家に帰って来たのは午後四時ころでした。玄関の方を見たとき、びっくりしました。母の三輪自転車がいないのです。ひよつとしたら、母はふたたび自転車で乗ったのかも知れない。私の胸はドキドキしました。

自転車でフキノトウを採りに行くとしたら、いったいどこへ行ったのだろう。私は大急ぎで車を走らせました。以前、農業集落排水の処理場の近くにいったい出ていたと母が語っていたことを思い出し、まず、その場所へ行って見ました。ところが、そこには母の自転車はありませんでした。となれば、やはり、川の土手に向かったのではないか。私は心配になりました。

私の頭に浮かんだのは、善長寺の裏手にある吉川の土手です。車を走らせてすぐ、マモルさんの家の庭に母のものと似た自転車が あることに気づきました。そばに行ってみたら、自転車かごの中には紙製のコメ袋がしかれていて、母のものであると確信しました。そして、そつと玄関をのぞいてみると、母の長靴があるじゃありませんか。ああ、よかったです。気持ちが一気に楽になりました。

玄関で二度、大きな声で「ばちや」と呼んでみました。そうしたら、マモルさんも母も返事をしました。マモルさんは、私の顔を見ると、「若いねちゃとお茶飲みしていたがど」と言っていて笑いました。母は、私が心配して迎えに来たということがわかったのでしょう、マモルさんにお礼を言っ、すぐに外に出てきました。

母に「フキント、あったかね」と訊くと、「うん、あった。この袋ん中に入れたがど」と紙製のコメ袋を指しました。そして母は自転車を一〇分ほど引いた後、ひよいと乗ってペダルをこぎ始めたのです。

ギーコ、ギーコといった感じでゆっくりとこぐ。その様子は昨年一二月に体調を崩す前の母の姿と少しも変わりがありませんでした。自転車でちゃんと乗れたのです。私はうれしくなって、カメラを取り出し、母を追いかけ、後ろから、前から、横からと自転車に乗った母を写真に収めました。写真は十枚くらい撮ったでしょうか。あとで、パソコンで画像を大きくしてみたら、母の表情はゆるんでいて、とてもうれしそうです。

母の写真を撮ってから、代石神社の入り口のところへ行き、気になっていたキクザキイチゲの様子を見に行きました。ここは、私が知る限り、キクザキイチゲが一番早く咲くところなんです。期待していた通りでした。すでに開花していました。夕方時間帯なので花はしぼんでいましたが、昼間は間違いなく開いていたはずなんです。

近くではシタイナバ（屋号）の子どもさんたちが遊んでいました。私が花の写真を撮っている姿を見ておられたのでしょうか、シタイナバのお母さんが、私のところへやって来て、しばらくキクザキイチゲのことなどでおしゃべりをしました。二人で話をしている最中、柿崎方面から自転車をこいでくる母の姿が見えました。背中を丸めてはいるものの、堂々とした乗りっぷりです。

その日の夜、母が採ってきたフキノトウ、新聞紙に広げたのをみたら、なんと五〇個以上もありました。春は母に元気を注入してくれます。今春も山菜採りに夢中になるにちがひありません。母はこの日、赤飯を炊きました。

ガス水道工事談合事件 5回目の口頭弁論

ガス水道局所管本支管工事における談合事件の第5回口頭弁論が22日、新潟地裁で行われました。私は原告団の仲間とともに傍聴に出かけてきました。新潟地裁には午後2時

10分前くらいに到着。新潟市はカラカラに乾いていました。長靴をはいて行ったので、ちょっぴり恥ずかしかったですね。

今回の口頭弁論では、原告側が12日に提出した準備書面をめぐって裁判長が原告、被告代理人にたいして、個別の談合行為の日時、場所、当事者などいくつかについて裁判長が確認し、次回口頭弁論の日取りをただけでした。約5分で終わりました。

次回口頭弁論は4月28日の午後3時から。いよいよ、原告、被告の論戦がはじまります。談合行為については音声データを含め、生々しい証拠資料が出されていますので、それらをめぐって、どのような論戦が展開されるのか注目です。

特別支援学校で今年度最後のスマイルカフェ

新潟県立吉川高等特別支援学校で24日午後、今年度最後のスマイルカフェが行われました。天気はまずまず。生徒の保護



者や地元のみなさんなどが学校に出入り、コーヒャやカプチーノなどを楽しみました。今年度最後とあって、飲み物に付くお菓子やアンケート用紙には、「1年間ありがとうございました」の文字がありました。

生徒のみなさんは玄関に入るところから大きな声で挨拶をし、注文取りなど一つひとつの行動を元気な声で確認しながら頑張っていました。新年度もカフェに行きたいと思

います。



安塚区にある「いすすぐらの滝」

上越地域各消防署における 空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16 μ Sv(マイクロシーベルト)だとのこと

	2月17日(水)	2月24日(水)
上越南消防署	0.057	0.053
上越北消防署	0.080	0.057
新井消防署	0.050	0.047
頸北消防署	0.057	0.057
頸南消防署	0.060	0.060
東頸消防署	0.053	0.050
高士分遣所	0.070	0.047
名立分遣所	0.050	0.053